

[担当教員]

黒田龍二（教授） 槻橋修（准教授） 栗山尚子（助教）

[Teaching Assistant]

川添浩輝（A65） 小島尚久（A65） 山本雅則（A65）

#### ■演習のねらい

- (1) 公共図書館のネットワークと役割分担，図書館の機能，図書館建築の機能・空間構成を理解すること。
- (2) 施設が立地する地域の歴史，空間的・社会的特徴を把握し，地域コミュニティ施設のあり方を考えること。
- (3) 以上を踏まえて，地域コミュニティ施設としての図書館の望ましい空間を提案すること。

#### ■計画建物の概要

- (1) 延床面積 1,600 m<sup>2</sup>前後  
(±10%程度の増減は可，ピロティ，庇，バルコニー，屋外階段等は面積に参入しなくてよい。)
- 注意：敷地Ⅰ，Ⅱはともに容積率 200%の地区で 3 千m<sup>2</sup>以上の敷地面積があるが，本課題では上記の延べ床面積とする。
- (2) RC造，鉄骨造，または木造（準耐火建築物）
- (3) 階数／複数階（平屋建ては不可）

#### ■敷地Ⅰ

阪急六甲駅南側，六甲八幡神社境内に隣接する敷地。

敷地面積 約 3,230 m<sup>2</sup>

第一種中高層住居専用地域／建蔽率 60%，容積率 200%



課題；敷地Ⅰ

#### ■提出図面・用紙

##### (1) 所要図面

配置図 1/500 建物本体については屋根伏図で示すこと。

各階平面図 1/100 1階平面図には外部空間の計画を明示のこと。

立面図 1/100 2面以上。

断面図 1/100 設計意図のわかる断面を1面以上。

透視図（必須）1 点以上 図面にはりこむなどして提出図面のサイズは統一

模型写真（必須）1 点以上

※断面図、透視図、模型写真は設計の意図が十分に伝わる部分を適切に選ぶこと

(2) 用紙： A1ケント紙あるいは同等の紙（プレゼンテーションの工夫として色つきの紙でもよい）

鉛筆，インキング等の仕上げ自由。

模型写真の貼込みなどは可とするが，図面一枚全部をプリンタ出力の場合，貼り合わせは不可。A1 一枚ものとして出力のこと。

#### ■敷地Ⅱ

阪神新在家駅南側，新在家南公園の北側の敷地。

敷地面積 約 3,103 m<sup>2</sup>

準工業地域／建蔽率 60%，容積率 200%



課題；敷地Ⅱ

#### ■講評会の様子

[OBゲスト講評者]

岡田光輝（オープラスオーアーキテクト一級建築士事務所、AC4）

岩田友紀（日建設計、AC15）

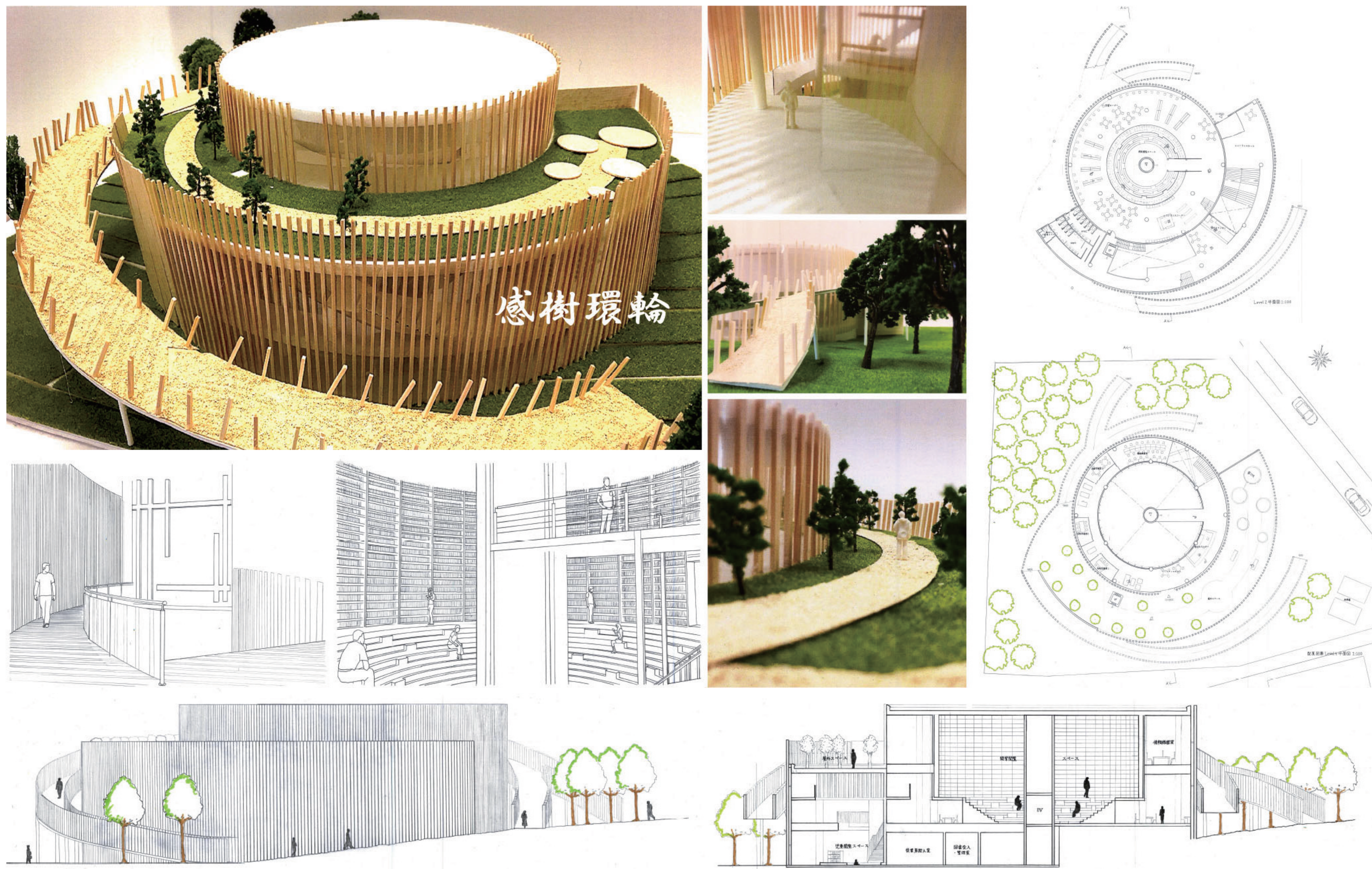




## 感樹環輪

小池晃弘

建物全体を1つの大樹と見立てた図書館。訪れた人々はルーバー影の連続による木漏れ日の再現などにより普段意識しなくなった木の良さを再認識し、「輪を環り、樹を感じとれる」建築を目指した。



## 灘 5.5 郷 - 文化を地域へ広げる図書館 -

豊野文子

『灘五郷』と呼ばれる酒蔵群がある。日本酒の消費量が年々下がっているという現状を、図書館によって改善したいと考えた。蔵人たちの歓談の場、『会所場』をイメージした大吹き抜け空間は、交流スペースであると同時に地域の人々を酒蔵へ導く役割を持つ。

